

海外の大学へ留学を目指すあなたへ

令和元年 7月 1日  
教 務 課

東京外国語大学・東京農工大学・電気通信大学  
文理協働型グローバル人材育成プログラム  
\*\*\*協働共通教育プログラム\*\*\*

# アカデミックイングリッシュ講座 (11月開講)・募集案内

## 受講生募集

**募集期間：7月1日（月）～10月18日（金）17時まで**

### ◆ 1. 講座内容

東京外国語大学、東京農工大学、電気通信大学の西東京3大学は連携して、文系及び理系のそれぞれの強みを生かした「文理協働型グローバル人材育成プログラム」を実施しています。

上記グローバル人材育成プログラムの一環として、各大学それぞれに平成28年度から英語力向上プログラムを推進しています。

**本学では、昨年度に引き続き、留学専門予備校（トフルゼミナール）に授業の運営を委託し、11月5日（火）から12月10日（火）の期間の毎週火曜日に「アカデミックイングリッシュ講座」【上級クラス・初中級クラス】（両クラスとも毎週2時間・計6回）を開講します。（受講生は電通大生のみ）**

この講座では、海外の授業に対応できる力を養成します。ディスカッションやプレゼンテーション、エッセイなどにおいて求められるスキル（自分の意見のまとめ方、自己表現、独創性、クリティカルシンキングなど）向上を目指し、「読む・聞く・話す・書く」の4技能を総合的に高めていきます。

クラスは、**上級クラス**（具体的に留学が決まってTOEFLなどのスコアを持っている人向け）と**初中級クラス**（留学はしたいがまだ目標スコアに達していない人向け）の2クラスにレベル分けを行います。

**上級クラスは**、主にSpeaking/Writingスキルに焦点をあて、ディスカッションやディベートなどにおいて、様々なトピックを扱う中で論理的思考力やコミュニケーション能力の強化を図ります。

**初中級クラスは**、エッセイの書き方、速読法、意見のまとめ方や言い回しなど海外の授業に必要な基本的なスキルを学んでいきます。

両クラスとも1人ひとりにフィードバックをかけ、より洗練された表現への指導やエッセイの添削も行います。（授業内容については、4ページの「◆9. 授業で扱うテーマ」を参照してください。）

学生は、教材費・添削料（3,300円）のみの負担で、留学専門予備校の講師によるアカデミックイングリッシュ講座を受講できるので、この機会を是非活用してください。

※なお、本講座では、学習効果の測定等について検証を行い、次年度以降の継続を検討します。従って、原則として、学生はすべての回の授業に出席することが受講の条件になります。

◆2. 対象学生

○学域・学部生（昼間コース・夜間主コース）1年～4年

○大学院生（博士前期課程・博士後期課程）全学年

※注1）平成29～平成30年度のアカデミックイングリッシュ講座を受講した学生の申込みも可能。

※注2）受講を希望する大学院生の応募も可能。

◆3. 応募資格

原則として、すべての授業（全6回）に出席できること。

※過去に TOEFL・TOEIC・英検等を受験していない学生の応募も可。

◆4. 開講する講座の種類及び募集人数

(1) 【アカデミックイングリッシュ上級クラス】 10名程度

- ・具体的に留学が決まって TOEFL などのスコアを持っている人向け。
- ・TOEFL ITP スコアが 500 点以上相当の学生に応募資格があり、受講を勧めます。

(2) 【アカデミックイングリッシュ初中級クラス】 10名程度

- ・留学はしたいが、まだ目標スコアに達していない人向け。
- ・TOEFL ITP スコアが概ね 500 点未満相当の学生に受講を勧めます。

※注意：希望者多数の場合には、選考の上、受講者を決定します。

（選考基準：語学力、志望理由などを参考に総合的に審査した上で受講者を決定します。）

◆5. 開講期日及び開講場所等

(1) 開講期日等

【アカデミックイングリッシュ上級クラス】

回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
月日	11/5(火)	11/12(火)	11/19(火)	11/26(火)	12/3(火)	12/10(火)
時間	実施時間：授業 18：00～20：00（2時間）					

【アカデミックイングリッシュ初中級クラス】

回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
月日	11/5(火)	11/12(火)	11/19(火)	11/26(火)	12/3(火)	12/10(火)
時間	実施時間：授業 18：00～20：00（2時間）					

(2) 開講場所 本学学内教室（後日、受講決定者に通知します。）

◆6. 自己負担額

受講生は、下記の金額を講座受講前に自己負担金として支払ってください。

3,300円（内訳、教材費及び添削料）

※支払方法は、受講決定者に別途、通知します。

## ◆ 7. 受講申込み方法

受講希望者は、下記により、**所定の期日までにメール（ファイル添付）で受講希望調書を提出してください。**

### (1) 提出方法

受講希望調書ファイル（エクセルファイル）をメール添付により、教務課あてに提出する。  
（メールで出せない場合は、教務課 2 番窓口（学域教務係）に提出してください。）

※受講希望調書ファイル（エクセル）は下記からダウンロードしてください。

<http://kyoumu.office.uec.ac.jp/gakubu/31Academic-form.xlsx>

### (2) 提出先

**下記 2 つのメールアドレスの両方に送信してください。**

- ・メールアドレス：[gakubu-k@office.uec.ac.jp](mailto:gakubu-k@office.uec.ac.jp), [staff@lang.edu.uec.ac.jp](mailto:staff@lang.edu.uec.ac.jp)（←両方のアドレスに送信）
- ・メール送信の際の件名は、【アカデミック(上級、初中級の別) 学年・氏名】としてください。  
例) 【アカデミック（初中級）3年電通太郎】、【アカデミック（上級）院 M1 電通花子】
- ・教務課から受信した旨返信するので、メール送信後、返信が無い場合には、教務課 2 番窓口で確認してください。（教務課から返信の無い申込みは受付がされていないので、無効となります。）

### (3) 申込期間

**令和元年 7 月 1 日（月）～ 10 月 18 日（金） 17 時まで**

（注：教務課窓口は日曜・祝日を除く。）

### (4) 受講可否の発表

受講の可否は、10月23日（水）（予定）に、学内掲示にて通知します。

### (5) 受講資格

受講可否の発表時に自己負担額 3,300 円の支払方法について連絡しますが、入金完了後に受講資格を得るものとします。（支払は前払い）

入金後の辞退はできません。また、一旦入金した自己負担額については、いかなる理由があっても返金されないので注意してください。

(6) 応募者が少ない場合には、講座を開講しないことがあります。

## ◆ 8. 問合せ先等

電気通信大学教務課 2 番窓口（学域教務係） E-mail [gakubu-k@office.uec.ac.jp](mailto:gakubu-k@office.uec.ac.jp)

※本募集案内・受講希望調書は、下記 URL からダウンロード可能

また、教務課カウンター及び B 棟 1 階ロビーでも配付する。

（募集案内 PDF） <http://kyoumu.office.uec.ac.jp/gakubu/31Academic-seminar.pdf>

（受講希望調書エクセルファイル） <http://kyoumu.office.uec.ac.jp/gakubu/31Academic-form.xlsx>

◆ 9. 授業で扱うテーマ（※受講生のレベル等により内容を変更する場合有り）

●Rapid Reading

1語1語にとらわれることなく、意味のまとまり (Chunk of Meaning) ごとに文頭から読みながら内容を把握する技術の習得を目指す。音声 CD をペースメーカーにして返り読みを防ぎ、効率よく読むための視線の動かし方や内容を予測する練習など実践的な速読演習を行っていく。目標設定はレベル別に1分間 150-250W。

●Critical Reading & Thinking

評論文や文学作品など批判的に読み込む演習から始め、書かれている内容に対する自分の意見をまとめ、それを発表し討論していく。授業前半は読解中心、後半はディスカッションが中心になる。読解を通して論理的に考える力を養成し、考えた内容を効果的に発表するプレゼンテーションの技術を学ぶ。

●Communication Skills

米科大学での授業や、日常生活を含めた留学生生活全般のコミュニケーション能力の獲得を目指す。英会話力はもちろん、風俗習慣、生活技術などをさまざまなシチュエーションの中で実践的に学ぶ。

●Issues & Discussion

上級英会話クラス。さまざまな分野で Discussion に必要とされる表現法の習得をはかるとともに、いかにして自分の意見を、論理的かつ説得力のある英語で表現するか実践演習を通じて徹底学習する。

●Seminar Skills

現代英文によって書かれた” Contemporary Issues” を扱ったテキストとともに、段落ごとに論旨を追う読み方を学習する。Paragraph Development パターン分析とそのレポート・ライティングへの応用をはじめ、抽象的な内容に関する Discussion Note Taking などセミナーで必要とされる技術を実践演習する。

●Effective Writing

英語の論理に基づいて簡潔かつ正確な文章を書く基礎演習に始まり、米国の大学での学習に不可欠なレポートの書き方までを段階的に学習する。

## 令和元年度アカデミックイングリッシュ講座 受講希望調書

提出日： 令和元年 月 日

氏名		学籍番号	
所属学域・学部／研究科名		学年	
所属学科・類・課程・専攻名		性別	
メールアドレス(PC)		※添付ファイルが受信可のもの。原則としてこちらに連絡します。	
電話番号		※連絡のつく番号を記入してください。 (携帯電話番号がのぞましい。)	
英語力試験	試験名： 受験日： スコア：	※TOEFL/TOEIC/英検等の種類を試験名欄に記入し、受験日及びスコアを記入してください。	
受講を希望するクラス ※希望するクラスに◎印を記入してください。(いずれか一つのみ)	(1) 上級クラス (概ねTOEFL ITP500点以上)		
	(2) 初中級クラス (概ねTOEFL ITP500点未満)		
本講座の受講経験 (平成29～平成30年度)	<input type="checkbox"/> あり ( <input type="checkbox"/> 上級 ・ <input type="checkbox"/> 初中級 )		<input type="checkbox"/> なし
受講を希望する理由 (100字～200字程度)			

(注) 過去にTOEFL, TOEIC, 英検等の英語力試験を受験したことがない学生も応募可能。「英語力試験」欄には「なし」と記入してください。

記入例

令和元年度アカデミックイングリッシュ講座 受講希望調書

提出日: 令和元年7月〇〇日

氏名	電通太郎	学籍番号	1234567
所属学域・学部／研究科名	情報理工学域	学年	2年
所属学科・類・課程・専攻名	I 類	性別	男
メールアドレス(PC)	xxxxxxx@uec.ac.jp	※添付ファイルが受信可のもの。原則としてこちらに連絡します。	
電話番号	123-456-7890	※連絡のつく番号を記入してください。(携帯電話番号がのぞましい。)	
英語力試験	試験名: TOEFL(ITP) 受験日: 2017.5.14 スコア: 550点	※TOEFL/TOEIC/英検等の種類を試験名欄に記入し、受験日及びスコアを記入してください。	
受講を希望するクラス ※希望するクラスに◎印を記入してください。(いずれか一つのみ)	(1) 上級クラス (概ねTOEFL ITP500点以上)	◎	
	(2) 初中級クラス (概ねTOEFL ITP500点未満)		
本講座の受講経験 (平成29～平成30年度)	<input checked="" type="checkbox"/> あり ( <input type="checkbox"/> 上級 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 初中級 )		<input type="checkbox"/> なし
受講を希望する理由 (100字～200字程度)	学域在学中に、アメリカに留学することを計画している。授業の英語だけでは、語学力が向上しないので、今回のような留学専門予備校の講師による本格的な対策講座を受講し、海外の授業に対応できるように速読法等を学び、英語力をアップしたい。		

(注) 過去にTOEFL, TOEIC, 英検等の英語力試験を受験したことがない学生も応募可能。「英語力試験」欄には「なし」と記入してください。